

プ ロ グ ラ ム

5月11日（金）若手ワークショップ

13:30-17:00 「国際会議での報告の手ほどき——ベルリン大会準備を兼ねて」

5月12日（土）個別報告/ミニシンポジウム

9:30 ～ 12:20	ミニシンポジウム① 紛争処理および相談のための 機関利用行動の実態と課題 檜村 志郎 阿部 昌樹 佐藤 岩夫 鹿又 伸夫 高橋 裕 武士俣 敦 仁木 恒夫 司会・コーディネーター 檜村 志郎		個 別 報 告 分科会 A 山本 千晶 土田久美子 小佐井良太 馬場 健一 司会：濱野 亮		個 別 報 告 分科会 B 森 大輔 齋藤 民徒 河村 有教 小林 友彦 司会：季 衛東	
	12:20 13:10	昼 食		ポスターセッション 竹原 信也 長谷川みゆき		
13:10 14:10	総 会					
14:10 ～ 15:10	特別講演会「新潟県中越地震と法的サポート」 講演者：斉藤 裕（新潟県弁護士会、日弁連災害対策委員会委員）					
15:10 ～ 18:30	ミニシンポジウム② 法意識と問題経験・問 題処理行動 松村 良之 木下麻奈子 藤本 亮 村山 眞維 濱野 亮 杉野 勇 司会・コーディネー ター：村山 眞維	ミニシンポジウム③ 地域から考えるリー ガル・サポート 早野 貴文 岩隈 道洋 石川 幹子 中村 光央 安藤 信明 田中 圭子 司会・コーディネー ター：大河原眞美	ミニシンポジウム④ 日 本 人 は 訴 訟 嫌 い だったのか 高橋 裕 林 紀昭 山本 弘 守屋 浩光 林 真貴子 深尾 裕造 川村 康 司会・コーディネー ター：守屋 浩光	ミニシンポジウム⑤ （企画関連Ⅰ） 規制緩和・民営化と公 共性 馬場 健一 北村 喜宣 石塚 伸一 菊池 馨実 松村 敏弘 司会：糊澤 能生		

5月13日（日）午前：個別報告/ミニシンポジウム

午後：全体シンポジウム『公共性の法社会学』

9:30 ～ 12:20	ミニシンポジウム⑥ ポスト福祉国家のもとでの地域協働と都市内分権 名和田是彦 宗野 隆俊 高村 学人 淵元 初姫 荒木 千晴 司会・コーディネーター：名和田是彦	ミニシンポジウム⑦ 沖縄近代法の形成と展開—沖縄の特殊性と普遍性 森 謙二 田里 修 青嶋 敏 牧田 勲 金城 善 奥山 恭子 平良 勝保 矢野 達雄 司会：林研三、コーディネーター：森謙二	ミニシンポジウム⑧ (企画関連Ⅱ) 争訟化 - 公共化のダイナミズム 尾崎 一郎 土屋 明広 道 あゆみ 道幸 哲也 船越 資晶 司会：守屋 明	個別報告 分科会C 片野 洋平 吉岡すずか 飯 考行 前田 智彦 司会：塩谷 弘康
12:20 13:10	昼 食		ポスターセッション 竹原 信也 長谷川みゆき	
13:10 ～ 16:50	全体シンポジウム 『公共性の法社会学』 佐藤 岩夫 長谷川貴陽史 檜村 志郎 南野 佳代 土場 学 司会：石田 眞・阿部昌樹			
16:50 17:00	理事長挨拶			

特別企画：中越地震・三条水害に関するパネル展示

報 告 題 目

5月12日（土）個別報告／ミニシンポジウム

9:30～12:20

* ミニシンポジウム①：紛争処理および相談のための機関利用行動の実態と課題

司会・コーディネーター：檜村志郎（神戸大学）

- (1) 檜村志郎（神戸大学）
- (2) 阿部昌樹（大阪市立大学）
- (3) 佐藤岩夫（東京大学）
- (4) 鹿又伸夫（慶應義塾大学）
- (5) 高橋 裕（神戸大学）
- (6) 武士俣敦（福岡大学）
- (7) 仁木恒夫（大阪大学）

* 個別報告分科会 A

司会：濱野 亮（立教大学）

- (1) 山本千晶（お茶の水女子大学）「中絶の〈権利〉に対するフェミニスト法学からの視座—〈ケアの倫理〉を手がかりに—」
- (2) 土田久美子（東北大学）「マイノリティ・グループによる補償要求運動の展開過程—在米日系ペルー人による補償請求運動を事例として—」
- (3) 小佐井良太（九州大学）「死別の悲しみと法・責任—ある飲酒死亡事故紛争事例の検討—」
- (4) 馬場健一（神戸大学）「国際比較から見た司法と立憲主義の日本的位相—裁判官報酬減額問題を素材に—」

* 個別報告分科会 B

司会：季 衛東（神戸大学）

- (1) 森 大輔（東京大学）「国際社会における法と慣習の関係」
- (2) 齋藤民徒（高知短期大学）「『法の認識』と『法による認識』—法を『参照』するとはいかなる事態か—」
- (3) 河村有教（神戸大学）「アジアの地域統合と共通法形成のダイナミクス」
- (4) 小林友彦（経済産業省）「多元的かつ複層的な国際紛争処理の過程分析—北米3か国間の貿易紛争の包括的処理事例を題材に—」

12:20～13:10

昼 食 ： ポスターセッション

- (1) 竹原信也（同志社大学）「個人情報保護法を巡る諸問題—消費者センターの相談現場から—」
- (2) 長谷川みゆき（千葉大学）「責任概念拡大に向けて—自己 Self、恥 shame、Reintegrative Shaming を手がかりに—」

13:10～14:10

総 会

14:10～15:10

特別講演会

齊藤 裕（新潟県弁護士会、日弁連災害対策委員会委員）「新潟県中越地震と法的サポート」

15:10～18:30

* ミニシンポジウム②：法意識と問題経験・問題処理行動

司会・コーディネーター：村山眞維（明治大学）

I. 法意識調査から

- (1) 松村良之（千葉大学）「法意識調査の概要」
- (2) 木下麻奈子（同志社大学）「日本人の法への態度は、どのように変わったか」
- (3) 藤本 亮（静岡大学）「法経験・法意識・パーソナリティのパス解析」

II. 行動調査から

- (4) 村山眞維（明治大学）「行動調査の概要」
- (5) 濱野 亮（立教大学）「問題経験者の対応行動」
- (6) 杉野 勇（お茶の水女子大学）「就業上のトラブル経験について」

*** ミニシンポジウム③：地域から考えるリーガル・サポート**

司会・コーディネーター：大河原眞美（高崎経済大学）

- (1) 早野貴文（弁護士）「地域性の司法の仕組みと課題」
- (2) 岩隈道洋（杏林大学）「司法改革と地域政策にみる市民のリーガル・サポート」
- (3) 石川幹子（富士通総研）「市民の声にみる法的トラブルと求められるサービス」
- (4) 中村光央（弁護士）「地方における司法支援センターの役割と今後の展開」
- (5) 安藤信明（司法書士）「高齢者のリーガル・サポート—介護保険と成年後見の現場—」
- (6) 田中圭子（日本メデイエーションセンター）「高齢者のための紛争解決の可能性—英国の Age Concern を通じて—」

*** ミニシンポジウム④：日本人は訴訟嫌いだったのか？ —史料からみる日本人の法意識—**

司会・コーディネーター：守屋浩光（奈良産業大学）

- (1) 高橋 裕（神戸大学）「問題設定・総括」
- (2) 林 紀昭（関西学院大学）「古代」
- (3) 山本 弘（九州大学）「中世」
- (4) 守屋浩光（奈良産業大学）「近世1」
- (5) 林 紀昭（関西学院大学）「近世2」
- (6) 林真貴子（近畿大学）「近代」
- (7) 深尾裕造（関西学院大学）「コメント：イギリス法史学の立場から」
- (8) 川村 康（関西学院大学）「コメント：中国法史学の立場から」

*** ミニシンポジウム⑤：規制緩和・民営化と公共性**

司会：榎澤能生（早稲田大学）

- (1) 馬場健一（神戸大学）「規制緩和・民営化と公共性—企画趣旨説明—」
- (2) 北村喜宣（上智大学）「規制改革時代の行政執行過程の課題」
- (3) 石塚伸一（龍谷大学）「刑事司法システムにおける規制改革・民営化と公共性の構造転換」
- (4) 菊池馨実（早稲田大学）「社会福祉の再編と公共性—社会福祉法人制度の存在意義をめぐって—」
- (5) 松村敏弘（東京大学）「規制緩和・民営化の法と経済学」

5月13日（日）個別報告／ミニシンポジウム／全体シンポジウム

9:30～12:20

*** ミニシンポジウム⑥：ポスト福祉国家のもとでの地域協働と都市内分権**

司会・コーディネーター：名和田是彦（法政大学）

- (1) 名和田是彦（法政大学）「日本型都市内分権と地域協働 —ドイツとの比較から—」
- (2) 宗野隆俊（滋賀大学）「アメリカ社会における「協働」/「公共的意思決定」と非政府主体 —サンフランシスコ—」

スコのコミュニティ開発法人を素材に一」

(3) 高村学人(立命館大学)「フランスにおける「都市問題」と近隣の民主主義法の適用—グルノーブル市を事例に一」

(4) 淵元初姫(法政大学政治学研究科博士後期課程)「スコットランドの地域マネジメント—地域評議会からみる自治—」

(5) 荒木千晴(法政大学政治学研究科博士後期課程)「フィリピンのバランガイと地域自治」

* ミニシンポジウム⑦：沖縄近代法の形成と展開—沖縄の特殊性と普遍性

司会：林 研三（札幌大学）、コーディネーター：森 謙二（茨城キリスト教大学）

(1) 森 謙二（茨城キリスト教大学）「問題設定」

(2) 田里 修（沖縄大学）「沖縄における時代区分と土地制度の展開」

(3) 青嶋 敏（愛知教育大学）「沖縄県における土地整理—浮掛地問題を中心に—」

(4) 牧田 勲（摂南大学）「コメント」

(5) 金城 善（糸満市役所）「沖縄における戸籍制度の形成」

(6) 奥山恭子（横浜国立大学）「コメント」

(7) 平良勝保（沖縄大学大学院）「内法と地方制度」

(8) 矢野達雄（広島修道大学）「コメント」

* ミニシンポジウム⑧：争訟化—公共化のダイナミズム

司会：守屋 明（関西学院大学）

(1) 尾崎一郎（北海道大学）「争訟化—公共化のダイナミズム—企画趣旨説明—」

(2) 土屋明広（九州大学）「公共化／私化する学校」

(3) 道あゆみ（弁護士）「家事事件における、弁護士の倫理的ディレンマ—公益性と当事者性の狭間で—」

(4) 道幸哲也（北海道大学）「労働条件決定過程における公共化と個人化—労働組合の代表性の解体と統合—」

(5) 船越資晶（京都大学）「批判法学からのコメント」

* 個別報告分科会 C

司会：塩谷弘康（福島大学）

(1) 片野洋平（明治学院大学）「環境配慮型行動の諸条件—2 地域特性の比較から—」

(2) 吉岡すずか（神戸大学）「地域社会における法的助言の獲得—離島地域にみる弁護士利用パターン—」

(3) 飯 考行（弘前大学）「司法書士による簡易裁判所訴訟代理権行使の状況と背景—北東北の事例を中心に—」

(4) 前田智彦（札幌大学）「日本の民事司法における裁判補助—実務における裁判所書記官の役割について—」

12:20～13:10

昼 食 ： ポスターセッション（12 日と同じ）

13:10～16:50

* 全体シンポジウム：『公共性の法社会学』

司会：石田 眞（早稲田大学）、阿部昌樹（大阪市立大学）

(1) 佐藤岩夫（東京大学）「公共性の法社会学—企画趣旨説明—」

(2) 長谷川貴陽史（首都大学東京）「『公共性の法社会学』の方法について」

(3) 樫村志郎（神戸大学）「公共性 —＜私的なもの＞からのアプローチ—」

(4) 南野佳代（京都女子大学）「公共性へのジェンダー・パースペクティブ」

(5) 土場 学（立教大学）「国家と社会のはざま—公共社会学のアプローチ—」

16:50～17:00

理事長挨拶